



やけど

低温やけどにご注意

便座に長時間皮膚が触れていると、低温やけどの原因になります。また、温風乾燥を同じ場所に長く当てているとやけどの原因になります。特に、以下のような方が使用されるときは、まわりの方が温度調節などに注意してあげてください。

注意が必要な方の例

- お子さま
- 疲労の激しい方
- 自分で温度調節が出来ない方
- お年寄の方
- 皮膚の弱い方
- 眠気を誘う薬(風邪薬、睡眠薬)を服用された方
- 深酒の方
- 皮膚感覚が弱い方

特に高齢者や介護が必要な方などのご使用には、ご注意ください

長期間(10年以上)お使いの製品は買い替えをご検討ください

最新の機種は、節電性能も向上しており、環境に優しく経済的にもメリットがあります。

上手な選び方

年間消費電力量が少ないほど、目安となる年間電気料金が安くなります!

※年間消費電力量とは、温水洗浄便座を家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。

種類(温水タンクの有無など)が同じであれば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れ、年間電気料金も安くなります。

同じタイプのものならば、星(★)の数の多いもの=省エネ基準達成率の高いものを選びましょう!

★★★と★の電気便座の年間消費電力量と年間電気料金の比較(貯湯式の場合)

商品A ★★ 省エネ基準達成率/110% 年間消費電力量/166kWh 年間電気料金/3,650円

商品B ★ 省エネ基準達成率/57% 年間消費電力量/320kWh 年間電気料金/7,040円

★★★の商品Aを選ぶと 1年間の目安電気料金にすると、約3,390円おトク!

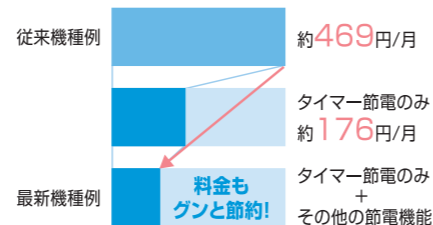
2011年4月1日現在

※出展:省エネ家電おすすめBOOK(省エネ家電普及促進フォーラム)
詳しくはこちらまで⇒<http://www.shouenekaden.com/>

タイマー節電とその他の節電機能を併用することでかきこく節電できます!

就寝前や外出前にタイマー節電すると、一定時間(約8時間)暖房便座や温水タンクへの通電を停止し、節電することができます。

※年間電気料金は目安であり、実際の使用条件や電力会社により異なります。



重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

~多くのお客さまが電気製品としての取扱い、寿命を意識されていません~

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります



故障したまま使わないでください

火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気づいたら、すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店またはメーカーへご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。販売店またはメーカーへご連絡ください。

温水洗浄便座・暖房便座を安全に使う3つのポイント

- 1 まず自分で安全チェックを
- 2 異常があれば販売店、メーカーにご連絡を
- 3 長期間お使いの製品は点検と買い替えを

温水洗浄便座に関する情報は『トイレナビ』で公開しています

<http://www.sanitary-net.com>

トイレナビ

検索

のぞいてみてください

快適にご使用いただく情報がいっぱい!

温水洗浄便座補修用性能部品保有年数

製造終了後 **6** 年

※各メーカーによって異なります。

温水洗浄便座補修用性能部品とは

温水洗浄便座を維持するために必要な部品のことです。

発行元 一般社団法人 **温水洗浄便座工業会**

〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18
<http://www.sanitary-net.com/>

TEL(052)935-7983
受付時間 平日9:00~17:00

後援 経済産業省

協賛

社団法人 **リビングアメニティ協会**

一般社団法人 **日本衛生設備機器工業会**

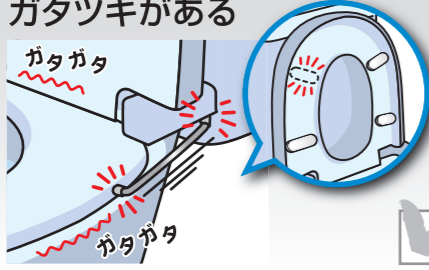
異常な状態

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

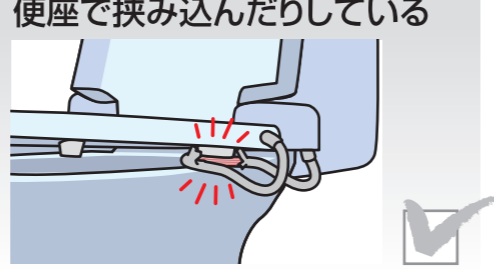
1つでも該当する場合

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

チェック 1 便座のゴム足が外れている、ガタつきがある



チェック 2 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている



チェック 3 便座にひびや割れがある



チェック 4 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある



チェック 5 製品から水漏れしている (内部の電気部品が被水)




チェック 6 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている (内部の電気部品が被水)



チェック 7 電源コードが熱くなっている



チェック 8 電源プラグの差込部が発熱・変色している



セルフ安全チェックを習慣化しましょう!

予測される事故

便座や便座コードから火が出る場合があります。



製品内部の電気部品に水がかかり、製品から火が出る場合があります。

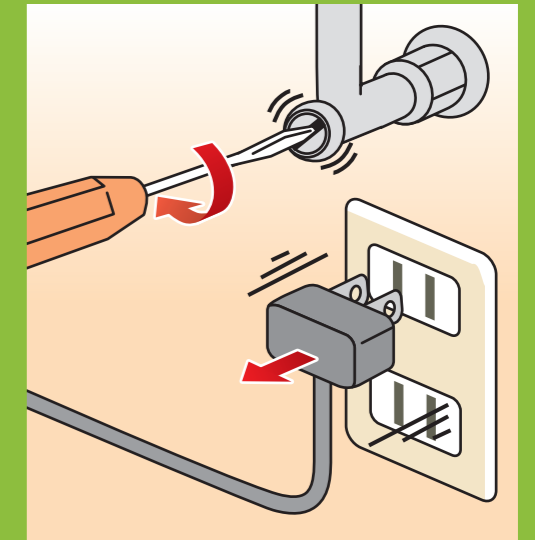


電源コードやコンセント部から火が出る場合があります。



対策・対応

応急処置 すぐに電源プラグを抜いて、止水栓を閉めてください!



点検依頼 点検を依頼してください!



販売店またはメーカーに点検を依頼してください(有料)。なお、必要に応じて、修理または買い替えのご検討をお願いします。

長期間ご使用の場合も、点検をおすすめしています。